

イコールアース図法の世界地図



※図法の考案者らのウェブサイトより

アフリカ大陸の実際の大きさを反映した世界地図の採用を求めるキャンペーンがインターネットで広がっている。8月にはアフリカ連合(AU)が公式に支持を表明した。主導する市民団体は、日本でも

もっと大きい大陸

メルカトルは「小さく表示」

広く使われる「メルカトル図法」の地図では大きさがゆがめられているとし、地図の図法を変更することでアフリカへの誤った認識も正してほしいと訴えている。「地図を正そう」とするキャンペーンで、AP通信によると、4月にアフリカの二つの市民団体が始めた。学校や国際組織に対し、実際の面積が反映された「イコールアース図法」の地図を用いるよう呼びかけている。APなどによると、メルカトル図法の地図は16世紀に欧州の航海士用に作られ、世界に普及した。緯線・経線に対する角度が正しいという特長

市民団体、図法変更求める



アフリカと、米国や中国、インド、日本などの大きさを比較する地図(アフリカ連合のXより、共同)

があるが、面積にはゆがみが生じる。高緯度の北米や欧州は相対的に大きく示され、低緯度のアフリカや南米は小さくなる。アフリカとグリーンランドの大きさはメルカトル図法上はほぼ同じだが、実際はアフリカの方が14倍以上も大きい。

AU委員会のハダデイ副委員長は8月、ロイター通信に対し、メルカトル図法の地図はアフリカが主要地域でないとの誤った印象を助長していると指摘した。固定観念がメディアや教育、政策にも影響を与えており、アフリカの国際的に正当な地位を求めるキャンペーンを支持すると語った。米紙ニューヨーク・タイムズによるとAUは来年2月の首脳会議でイコールアース図法の地図の採用を正式決定する見込み。ロイターによると、世界銀行は既に同図法を採用し、カリブ共同体(カリコム)もメルカトル図法の地図を拒否すると表明した。

25年9月21日付7面

* 習っていない漢字のよみがなや難しい用字用語の解説

・変更(へん・こう) ・訴(うった)え ・欧州(おう・しゅう)＝ヨーロッパのこと。	・誤った印象を助長する＝間違った認識やイメージを強め、さらに広める。 ・指摘(し・てき)＝問題になる点を取り上げ、指し示すこと。
・緯線(いせん)・経線＝緯線は地球の表面に引かれた赤道と平行な横線で北緯と南緯を示す。経線は北極と南極を結ぶ南北方向の縦線で東経と西経で表す。緯度と経度を組み合わせれば、地球上のどんな場所でも正確に示せる。	・固定観念＝常に頭から離れず、状況の変化にも対応できない、こり固まった考えや先入観。 ・影響(えい・きょう)
	・見込(み・こ)み ・既(すで)に ・拒否(きょ・ひ)

【問1】 見出しの空欄に入る大陸名を書きましょう。 () 大陸

【問2】 日本で広く使われるメルカトル図法の特長として正しくない説明をア～ウから一つ選びましょう。
()

- ア 16世紀にヨーロッパの航海士用に作られた イ 実際の面積が正しく反映される
ウ 緯線・経線に対する角度が正しい

【問3】 次の文①と②は、メルカトル図法による面積のゆがみについて示された記事中の二つの例です。
空欄XとYに当てはまる言葉を次のア～ウからそれぞれ選びましょう。

- ① 北アメリカ州やヨーロッパ州に対し、アフリカ州や南アメリカ州は [X]
② 実際はアフリカがグリーンランドの14倍以上大きいですが、地図では [Y]
X () Y ()
ア 小さく示される イ 大きく示される ウ ほぼ同じに示される

【問4】 AU委員会のハタディ副委員長は、メルカトル図法によるアフリカへの影響についてどのような指摘をしていますか。記事中から21字で抜き出しましょう。

()

メルカトル図法の地図からイコールアース図法の地図への変更を訴えるキャンペーンの狙いとして最も適当なものを次のア～エから一つ選びましょう。 ()

- ア アフリカ諸国への支援 イ アフリカ諸国の位置と国名の理解
ウ アフリカ諸国の平和推進 エ アフリカ諸国の国際的に正当な地位

【問5】 世界地図の図法と特長について、メルカトル図法以外にも調べてみよう。